

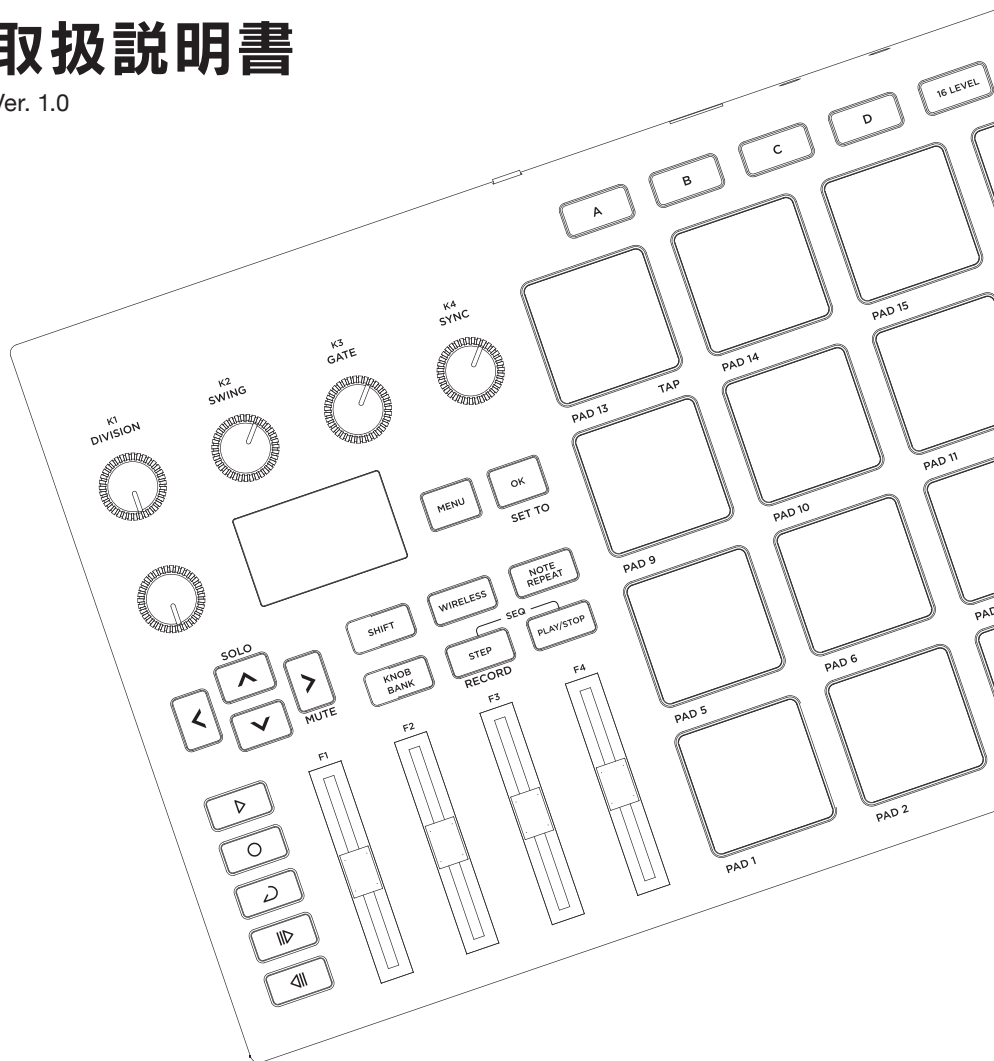


Classic Pro

MIDI Pad Controller CCP16BK

取扱説明書

Ver. 1.0



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

www.soundhouse.co.jp

E-mail: shop@soundhouse.co.jp

TEL: 0476-89-1111

FAX: 0476-89-2222

安全に関する注意事項

- ・カバーを開けたり、改造を行ったりしないでください。
- ・修理や部品交換を試みないでください（本書で具体的に指示している場合を除く）。
- ・次のような場所で使用および保管をしないでください。極端な高温／低温となる場所（密閉した車内の直射日光、暖房ダクト付近、発熱機器の上など）。湿気の多い場所（浴室、洗面所、濡れた床など）。雨の当たる場所。ほこりの多い場所。強い振動にさらされる場所。
- ・ラックやスタンドの使用有無に関わらず、必ず水平で安定した場所に設置してください。本製品を十分に支えられ、ぐらつきのない面であることを確認してください。
- ・液体や異物が本機内部に入ると、破損や火災の原因になります。
- ・本製品に強い衝撃を与えないでください。
- ・取り外したキャップ類や付属のウィングボルトは、誤飲を防ぐため、子どもの手の届かない安全な場所に保管してください。
- ・コードやケーブルが絡まないようにしてください。さらに、すべてのコードやケーブルは子どもの手の届かない場所に配線してください。
- ・本製品の上に乗ったり、重い物を乗せたりしないでください。
- ・本製品を移動する前、またはクリーニングする前に、外部機器からのすべてのケーブルを取り外してください。

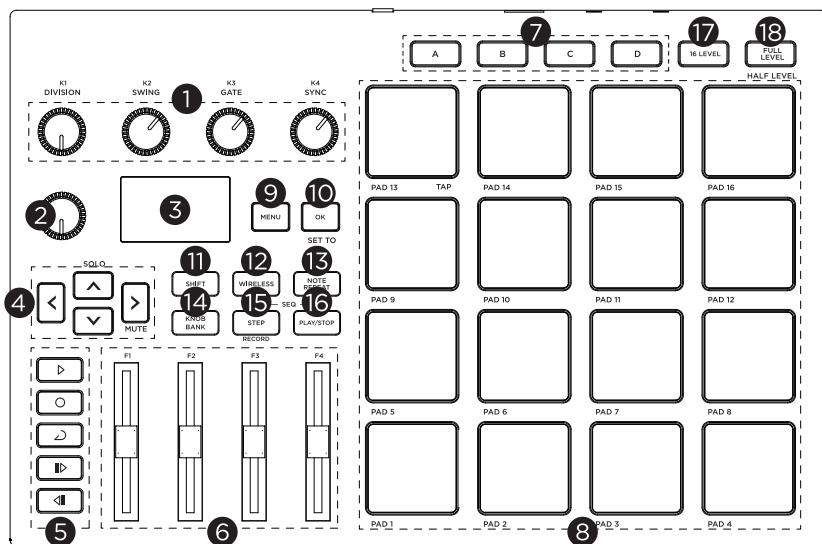
メンテナンス

- ・日常のクリーニングは、やわらかい乾いた布、または水で軽く湿らせた布で拭いてください。落ちにくい汚れは、研磨剤を含まない中性洗剤を含ませた布で拭いてください。仕上げに、やわらかい乾いた布で全体をていねいに乾拭きしてください。
- ・変色や変形を防ぐため、ベンジン、シンナー、アルコール、その他の溶剤は使用しないでください。

その他の注意事項

- ・故障や誤操作により、本製品のメモリが消失し、回復不能になる場合があります。あらかじめご承知ください。
- ・本製品のボタンやコントロール、端子やコネクタは丁寧に扱ってください。無理な力を加えると故障の原因になります。
- ・ディスプレイを叩いたり、強い圧力を加えないでください。
- ・すべてのケーブルを接続／取り外しするときは、必ずコネクタ本体を持って行ってください。ケーブルを引っ張らないでください。短絡やケーブル内部導体の損傷の原因になります。

トップパネル



①機能割当てノブ

360° ロータリーノブ。MIDI CCメッセージ (Control Change Message) を送信します。

②セレクトノブ

本体の各パラメーターを変更するためのノブ。プリセットのパラメーター、テンポなどの調整を行います。

③LCDスクリーン

メニューと各パラメーターを表示します。

④矢印ボタン

パラメーターを選択し、ページを切り替えます。

⑤編集ボタン

ボタンによりMIDI CCコマンドを編集・送信します。

⑥フェーダー

フェーダー操作によりMIDI CCコマンドを編集・送信します。

⑦A/B/C/Dボタン

A/B/C/Dグループを切り替えます。

⑧パッド

ダイナミックレスポンスに対応する16個のパッド。パッドのインジケーター色は変更可能。

⑨MENUボタン

メニューモードに入ります。設定はこのボタンで行います。

⑩OKボタン

確認ボタン。MENUページで変更したパラメーターを保存します。

⑪SHIFTボタン

他のキーとの組み合わせで各種機能を切り替えます。

⑫WIRELESSボタン

Bluetooth接続用のボタン。Bluetoothがオフのときはランプが消灯しています。オンにすると点滅します。接続されているときは点灯します。

16 NOTE REPEATボタン

NOTE REPEAT機能を有効にします。SHIFT+NOTE REPEATボタンを押すことでNOTE REPEATパラメーターの編集ページに入ります。終了するときもSHIFT+NOTE REPEATボタンを押してください。

14 KNOB BANKボタン

ノブバンクを切り替えます。A/B/C、3グループのノブを切り替えられます。ボタンのランプは、赤がグループA、緑がグループB、青がグループCを示します。

15 STEPボタン

シーケンサーのステップ設定用ボタン。押してステップ数を設定します(最大16ステップ)。ボタンを押すと全パッドのインジケーターが緑に点灯します。該当するステップのパッドを叩いて設定してください。設定を取り消したいステップは、同じパッドをもう一度叩いてインジケーターを緑に戻してください。設定を終えるときはSTEPボタンをもう一度押してください。

16 PLAY/STOPボタン

シーケンサーの再生ボタン。押すとシーケンサーを再生します。再生前に、まずシーケンサーのSTEPを設定し、メインメニューに戻ってパッドのキー値を選択してください。

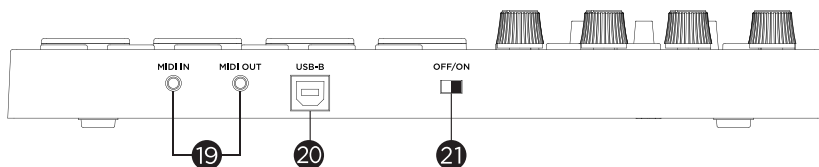
17 LEVELボタン

直前に叩いたパッドのベロシティ値を16段階に均等分割して16個のパッドに割り当てます。異なるベロシティでの反応を確認できます。

18 FULL LEVELボタン

全パッドの出力ベロシティが最大になります。SHIFT+FULL LEVELでHALF LEVELモードに切り替えてください。全パッドの出力ベロシティが最大値の半分になります。

リアパネル



19 MIDI IN / MIDI OUTポート

MIDI IN/OUT 3.5mm TRS端子(Type-A)。

20 USB-Bポート

電源供給とデータ伝送に使用します。

21 OFF/ON

電源スイッチ。

クイックスタートガイド

本製品は、MIDI対応機器へMIDIデータを生成、送信するMIDIコントローラーです。電子音楽の演奏で、サウンドのトリガーや各種パラメーターを制御します。

MIDIパッド操作手順

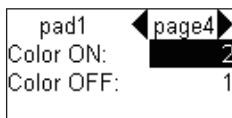
- 1) Type-B USBケーブル、または単3形アルカリ乾電池2本で給電してください。
- 2) 電源スイッチをONにしてください。
- 3) DAWソフトウェアまたは他のオーディオ機器に接続してください。

ヒント：外部機器への接続の詳細は、USBケーブル接続メニューおよびBluetooth接続メニューを参照してください。

ライティング設定

MIDIパッドはライティング機能を搭載しており、好みに合わせて編集できます。単体または複数のパッドの表示を編集する場合は、次の手順に従ってください。

- 1) MENUボタンを押し、Triggerオプションを選択して、OKボタンを押して編集メニューに入ってください。
- 2) 変更したいパッドを叩いて選択し、矢印ボタンの左右いずれかを押しPage4を選択してください。



Color ON:パッドを叩いたときに表示する色です；

Color OFF:パッドを叩いていないときに表示する色です；

ヒント：特定のカラーをパッドのグループ全体に一括設定したい場合は、「SET TO」機能が便利です。SHIFTボタンを押しながらOKボタンを押すと、「SET TO」メニューに切り替わり、選択したパラメーターを各グループ(A/B/C/D)または全グループ(ALL)に対して一括で適用できます。

LED用カラー一覧

| NO. | COLOR | NO. | COLOR | NO. | COLOR | NO. | COLOR |
|-----|--------|-----|---------------|-----|----------------|-----|--------------|
| 1 | RED | 5 | BRIGHT ORANGE | 9 | LIGHT CYAN | 13 | PEARL VIOLET |
| 2 | GREEN | 6 | YELLOW | 10 | PURPLE | 14 | LIGHT GREEN |
| 3 | BLUE | 7 | BLUE GREEN | 11 | ANCIENT PINK | 15 | LIGHT BLUE |
| 4 | ORANGE | 8 | MAY GREEN | 12 | HEATHER VIOLET | 16 | WHITE |

各コンポーネントのMIDI情報を編集

このMIDIパッドは本体でMIDI値を編集できます。外部エディターは不要です。

パッド/ノブ/フェーダー/ボタンのMIDI値を編集する場合は、次の手順に従ってください。

- 1) MENUボタンを押し、「Trigger」を選び、OKボタンを押してください。
- 2) 変更したいコンポーネントのMIDIパラメーター情報へ移動します。対象のパッドを叩く、ノブを回す、フェーダーを動かす、ボタンを押すなどの操作をしてください。
- 3) 矢印ボタンの左右いずれかを押しページを切り替えてください。

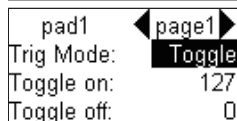
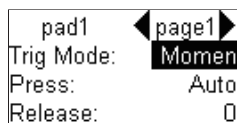
PAD

Page1

パッドのトリガーモード(Trig Mode)を変更します。設定オプションには「Momentary(モメンタリー)」と「Toggle(トグル)」があり、初期設定は「Momentary」です。

Momentaryモード:パッドを叩いた瞬間に「Press」で設定したベロシティ値が送信され、指を離れた瞬間に「Release」で設定したベロシティ値が送信されます。「Press」を「Auto」に設定すると、叩く強さに応じてベロシティ値が自動的に検知されます。

Toggleモード: 1回目に叩いた時に「Toggle on」のベロシティ値が送信され、2回目に叩いた時に「Toggle off」のベロシティ値が送信されます。叩くたびにこれらが交互に切り替わります。



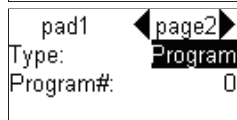
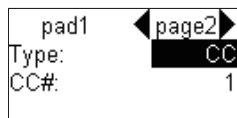
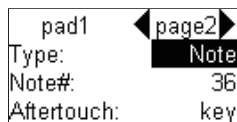
Page2

パッドのタイプ(Type)を変更します。設定オプションには「Note」「CC」「Program」があり、初期設定は「Note」です。

Note: パッドを「ノート」タイプとして動作させます。ノート番号(Note#)やアフタータッチのタイプを設定できます。

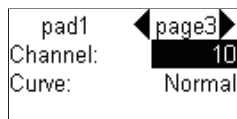
CC: パッドを「CC(コントロール・チェンジ)」タイプとして動作させます。CC番号(CC#)を設定できます。

Program: パッドを「プログラム」タイプとして動作させます。プログラム番号(Program#)を設定できます。



Page3

パッドのMIDI出力チャンネル(Channel)を変更します。設定範囲は1~16チャンネルで、初期設定は10チャンネルです。



ノブ

ノブのタイプ(Type)を変更します。設定オプションには「CC」と「Aftertouch」があり、初期設定は「CC」です。

CC: ノブを「CC(コントロール・チェンジ)」タイプとして動作させます。CC番号(CC#)および出力チャンネル(Channel)を設定できます。

Aftertouch: ノブを「アフタータッチ」タイプとして動作させます。アフタータッチの値および出力チャンネル(Channel)を設定できます。

ノブの境界値を変更します。ノブの値に対する最大(Max)／最小(Min)を調整できます。

| | |
|----------|-----------|
| knob1 | ◀ page1 ▶ |
| Type: | CC |
| CC#: | 70 |
| Channel: | 1 |

| | |
|-------------|-----------|
| knob1 | ◀ page1 ▶ |
| Type: | Aftouch |
| Aftertouch: | channel |
| Channel: | 1 |

| | |
|-------|-----------|
| knob1 | ◀ page2 ▶ |
| Min: | 0 |
| Max: | 127 |

フェーダー

フェーダーのタイプ(Type)を変更します。設定オプションには「CC」と「Aftertouch」があり、初期設定は「CC」です。

CC: スライダーを「CC(コントロール・チェンジ)」タイプとして動作させます。CC番号(CC#)および出力チャンネル(Channel)を設定できます。

Aftertouch: スライダーを「アフタータッチ」タイプとして動作させます。アフタータッチの値および出力チャンネル(Channel)を設定できます。

フェーダーの境界値を変更します。フェーダーの値に対する最大(Max)／最小(Min)を調整できます。

| | |
|----------|-----------|
| fader1 | ◀ page1 ▶ |
| Type: | CC |
| CC#: | 12 |
| Channel: | 1 |

| | |
|-------------|------------|
| fader1 | ◀ page1 ▶ |
| Type: | Aftertouch |
| Aftertouch: | channel |
| Channel: | 1 |

| | |
|--------|-----------|
| fader1 | ◀ page2 ▶ |
| Min: | 0 |
| Max: | 127 |

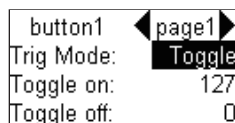
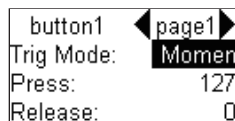
ボタン

Page1

ボタンのトリガーモード (Trig Mode) を変更します。設定オプションには「Momentary (モーメンタリー)」と「Toggle (トグル)」があり、初期設定は「Toggle」です。

Momentaryモード: ボタンを押した瞬間に「Press」で設定したベロシティ値が送信され、指を離れた瞬間に「Release」で設定したベロシティ値が送信されます。

Toggleモード: 1回目に押した時に「Toggle on」のベロシティ値が送信され、2回目に押した時に「Toggle off」のベロシティ値が送信されます。押すたびにこれらが交互に切り替わります。

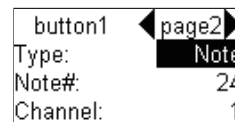
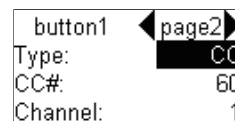


Page2

トランスポートボタンのタイプ (Type) を変更できます。設定オプションには「Note」と「CC」があり、初期設定は「CC」です。

Note: 「Note」に設定すると、トランスポートボタンをノートタイプとして動作させることができます。ノート番号 (Note#) および出力チャンネル (Channel) を指定できます。

CC: 「CC」に設定すると、トランスポートボタンをCC (コントロール・チェンジ) タイプとして動作させることができます。CC番号 (CC#) および出力チャンネル (Channel) を指定できます。



トランスポート機能

Cubase 12以降では、初期設定のトランスポートボタンを使用して、再生や停止などのトランスポート機能进行操作できます。

初期設定は以下の通りです:

| 機能 | CC 値 | CC チャンネル | 最大 | 最小 |
|--------|------|----------|-----|----|
| 再生 | 60 | 1 | 127 | 0 |
| 録音 | 61 | 1 | 127 | 0 |
| サイクル有効 | 62 | 1 | 127 | 0 |
| 早送り | 63 | 1 | 127 | 0 |
| 巻き戻し | 64 | 1 | 127 | 0 |

備考: トランスポート・ボタンの既定のパラメーターを変更した場合、Cubase上のトランスポート・コントロールとの連動が正しく行われない可能性があります。他社製DAWソフトウェアを操作する際には、必要に応じてMIDIマッピングの再設定を行ってください。

16 LEVEL

16LEVELボタンを使うと、キーのペロシティ値を16段階に分割できます。これにより、同じサウンドでも強さのレイヤーを使い分けて表現することが可能になります。

手順は以下の通りです：

1.16 LEVEL機能を使いたいパッドを叩いて選択します。

2.16 LEVELボタンを押してください。これにより、16個のパッドがすべて同じ音色に割り当てられ、それぞれが異なる強弱（ペロシティ）に対応します。各パッドへの強弱の割り当ては、右図の通りです。

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 104 | 112 | 120 | 127 |
| 72 | 80 | 88 | 96 |
| 40 | 48 | 56 | 64 |
| 8 | 16 | 24 | 32 |

ヒント：16 LEVELボタンを押す直前に叩いたパッドの強さが、16段階に分割されて各パッドへ割り当てられます。

BLUETOOTH接続

本製品は、Bluetooth MIDIに対応した機器へ接続できます。

手順は以下の通りです：

1.WIRELESSボタンを押してください。インジケータが点滅すると、Bluetoothが有効になり、ペアリング待機状態（他のデバイスと未接続の状態）であることを示します。

2.接続先デバイスのBluetoothを有効にし、アプリケーション内から「MIDI PAD-01」という名前のデバイスを検索して接続します。

注意：

本製品は、Mac、iPad、Windows 8以降、AndroidなどにBluetoothで接続できます。

iOS (iPhone/iPad) の設定メニュー (Bluetooth 設定) には「CCP16」は表示されません。必ず Bluetooth MIDI に対応したアプリケーション内の設定画面から接続してください。

USBケーブル接続

本製品は、Type-B USBケーブルで他の機器に接続できます。データ通信とMIDIパッドへの電源供給に使用します。

ペロシティ応答設定

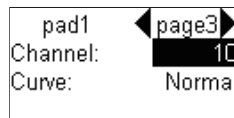
パッドのペロシティカーブを調整して、お好みの演奏感に設定します。FULL LEVELとSHIFT+FULL LEVEL (HALF LEVEL) ボタンを使うと、ペロシティ値を最大値または半分に固定することも可能です。

手順は以下の通りです：

MENUボタンを押し、Triggerを選択、OKを押して編集ページに入ってください。

変更したいパッドを叩き、矢印ボタンの左右いずれかを押ししてPage3を選び、Curveの値を調整してください。

ヒント：すべてのパッドに同じペロシティカーブを一括設定したい場合は、「SET TO」機能が便利です。SHIFTボタンを押しながらOKボタンを押すと、「SET TO」メニューに切り替わり、選択したパラメーターを各グループ(A/B/C/D)または全グループ(ALL)に対して一括で適用できます。



16-STEP SEQUENCER機能

指定したパターンに従って、16個のノートを再生できます。

16-STEP SEQUENCERの使用方法：

- 1.STEPボタンを押してシーケンサーのステップ設定ページに入ってください。PAD1～PAD16が各ステップを表します。ステップを設定／解除するには、対応するパッドを叩いてください。
- 2.PLAYボタンを押してシーケンサーを有効にしてください。メインメニューに戻りパッドを叩くと、シーケンサーで有効になっているステップに従ってノートが再生されます。
- 3.シーケンサーの動作中でも、ステップ設定をリアルタイムに変更できます。
- 4.シーケンサーのステップ設定はパッドグループごとに保持でき、グループごとに独立してシーケンサーを起動させることができます。

シーケンサーの再生スピード(テンポ)を調整するには、SHIFT+ Note Repeatボタンを押し、パラメーターはつまみを用いて変更してください。

| | |
|---------|---------|
| REP off | BPM:120 |
| 1/4 | 50% |
| GATE: | off |

注意：16-STEP SEQUENCER機能により、パッド上のステップを有効／無効にして、リズムやメロディのパターンを作成できます。シーケンスの再生をカスタマイズして、演奏の質を高められます。

RECORDING機能

1. SHIFT+STEPキーを同時に押して録音モードに入ってください。インジケータが赤色に点灯します。
2. PLAY/STOPボタンを押して録音を開始してください。開始前に4拍のカウントがあり、STEPボタンが赤で点滅します。録音開始後は、STEPボタンの点滅が緑と青に変わります。
3. リズムに合わせてパッドを叩きます。入力されたタイミングは自動的にクオンタイズ(補正)され、対応するシーケンサーのステップに設定します。
4. SHIFT+STEPキーをもう一度押して、録音機能を終了してください。

ヒント:

1. 録音の上限は16ステップです。シーケンサーの制限時間を超えた場合、新しい録音が既存の録音を上書きします。
2. MENU画面を表示している間は、録音操作やステップ設定、シーケンサーの起動などは行えません。
3. STEP設定モードに入っている間は、一度そのモードを終了してからレコーディングメニューに入る必要があります。
4. NOTE REPEAT機能をオンにすると、シーケンサーの再生はオフになります。

MUTEおよびSOLO機能

特定のパッドの音を消音(ミュート)したり、逆に一つのパッドだけを再生(ソロ)したりできます。

使用手順:

1. ミュート(MUTE): SHIFTボタン + 矢印ボタン右ボタンを同時に押しながら、対象のパッドを叩きます。ミュートされたパッドはインジケータが消灯し、叩いても反応しなくなります。解除するには、もう一度同じ操作を行ってください。
2. ソロ(SOLO): SHIFTボタン + 矢印ボタン上ボタンを同時に押しながら、対象のパッドを叩きます。

Note Repeat

Note Repeat機能を使うと、パッドを押し続けている間、設定したノートタイムに基づいてMIDIデータを連続で送信します。次の手順に従ってください：

- 1) Note Repeatボタンを押してください。パッドを叩くと、あらかじめ設定されたNote Repeatパラメーターに基づくMIDIデータを送信します。
- 2) Shift + Note Repeatを押すとNote Repeatのパラメーター設定ページに入ります。対応するノブを回してパラメーターを変更することが可能です。終了するには、もう一度Shift + Note Repeatを押してください。

Reset(工場出荷時設定に戻す)

メインメニューを表示中に OKボタンを5秒間長押しすると、リセットメニューが表示されます。矢印ボタンの左右いずれかを押しして「Yes」を選択してOKボタンを押すと、すべてのパラメーターが消去され、初期状態に戻ります。

Sleep Mode

30分間操作がない場合、本製品はスリープモードに入ります。すべてのランプとディスプレイは消灯します。再度パッドを使用すると、復帰します。

Version number

メインメニューでOKボタンを続けて8回押してください。現在のプログラムのバージョン番号を表示します。